

NAKATOMI

充電式背負い噴霧器 SPB-1210

取扱説明書



このたびは、弊社「充電式背負い噴霧器 SPB-1210」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

取扱説明書掲載写真は、身軽な服装となっておりますが、作業を行う際は、農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖の防除衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

【安全上のご注意】

- ◆ご使用になる前に安全上のご注意を良くお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害、火災に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

●表示と意味




⚠警告

使用を間違った場合に、人が死亡、または、重傷を負う危険・物的損害・火災の危険性が想定される内容を表記しています。







⚠注意

使用を間違った場合に人が傷害を負う危険性・物的損害の発生が想定される内容を表記しています。

- ※△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく危険性があります。安全にご使用いただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも充分な配慮をしてご使用ください。





図記号の例		図記号の意味
	禁 止	行為の禁止を示します。
	強 制	行為を強制・指示する内容を示します。
	注 意	注意を促す内容を示します。

⚠警告

- ・機械の調子が悪かったり異常に気がついたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。 
- ・使用する薬剤については、薬剤の取扱説明書を十分にお読みの上、正しく使用してください。 
- ・安全のため、作業中は保護マスク、保護メガネ、保護衣、作業帽、不浸透性の手袋、作業靴を着用して危険のない服装で行ってください。 
- ・薬剤は有害です。幼児や子供が触れないように保管してください。また、保管については、薬剤の取扱説明書に従ってください。 
- ・薬剤に被爆した時は、薬剤の取扱説明書に従い、適切な処置を行うか医師の診断を受けてください。 
- ・タンク内に薬液を入れたまま保管しないでください。使用後は、タンク内の薬液を抜き、よく洗浄してから保管してください。子供の手の届かないところ・直射日光に当たらない場所に保管してください。 

<p style="text-align: center;">⚠ 警告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 薬液を変更する場合は、必ず前の薬液を完全に抜いて水洗いしてから、新しい薬液を入れてください。薬液が混ざると化学変化をおこす恐れがあり危険です。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> 分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造を行った時点で、一切の保証の対象外とさせていただきます。また、分解・改造を原因とする事故・損害などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 疲れているとき・体調が悪いとき・酔っているとき・薬を服用しているとき等、正常な運転操作ができないときは絶対に使用しないでください。事故の原因となります。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 本機に付いているカバーやラベル、その他の部品を外して使用しないでください。また改造は絶対にしないでください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 商品の運送途中の衝撃により、商品が破損したり、取り付け部品が外れたり曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して、正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 防除、除草用の農園芸用薬剤の散布・散水用途以外には使用しないでください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 薬剤は誤使用・誤飲の危険がありますので、絶対に他の容器に移し替えないでください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況を十分確認の上、使用してください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 使用中・使用後に少しでも体調が悪くなったときは、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 強酸性の薬剤・塗料・シンナーなどは絶対に使用しないでください。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後最初に使用する時、長期間(3ヶ月以上)使用しなかった時は、必ずバッテリーの充電を行ってからご使用ください。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> 長時間噴霧作業を行わない時は、電源スイッチをOFFにしてください。レバーを停止位置にした状態で長時間運転を行うと、バッテリーを消費するだけでなく、ポンプにも影響を与えることがあります。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> 噴霧が途切れたり、ポンプの音が急に高くなった時は、タンク内が空になっていますので、電源スイッチをOFFにしポンプの運転を止めてください。 	⊘
<ul style="list-style-type: none"> 作業終了後は、充電してから保管してください。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> 充電器を水に漬けたり、水をかけたり、濡れた場所で使用したりしないでください。ショート・感電・発熱・発火の原因になります。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。 	❗
<ul style="list-style-type: none"> このバッテリーは必ず専用の充電器で充電してください。他の充電器などで充電をしますと、バッテリーの漏液・発熱・破裂させる原因になります。 	❗

⚠ 注意	
・使用後は、器具や着衣類を全てよく洗い、使用者も入浴するか、手、足、顔などを石鹸でよく洗い、目の水洗いとうがいをしてください。	!
・部品は必ず取扱説明書に記載されているものをご使用ください。	⊘
・ホース類に無理な曲げ・よじれ・折れ・引っ張りが無いよう注意して散布作業を行ってください。	⊘
・ノズルの清掃・交換を行う際は、薬液が身体にかかる恐れがありますので、身体の反対側にノズルを向けて取り外してください。	⊘
・前回使用した薬液がタンク・ホース・ノズル等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合には、残っている薬液を十分に洗い落としてください。	⊘
・余った薬液や機械の洗浄水は、水道・水源地・河川・池・沼・下水道等に流入して汚染しないように薬害の無い方法で処分してください。	⊘
・機械を停止してもポンプや吐出ホース内に圧力が残っている場合があります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ポンプや吐出ホース内の圧力を抜いてください。	⊘
・動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店又は、お客様相談窓口へご連絡ください。	!
・安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。	⊘
・炎天下で長時間作業をしないでください。作業は、風の強くない朝夕の涼しい時間を選んでください。	⚠
・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがありますので注意してください。薬剤の取扱説明書をよくお読みになり正しく希釈してください。	!
・薬剤は、必ず調合し、よく溶かしてからタンクに入れてください。石灰硫黄合剤及び水和剤を使用した場合、噴霧の状態が悪くなったり、ポンプの寿命が短くなる場合がありますので、薬剤はよく溶かしてからご使用ください。	!
・ハウス内では、必ず換気を行いながら作業してください。	⚠
・冬場の保管は、ポンプ内に薬液が残っていると凍結により故障、破損の原因となりますので、自動車用不凍液又は、ウィンドウウォッシャ液を入れるか噴口から残液が出なくなるまでポンプを運転し、残液が無くなったことを確認してから保管してください。	!
・充電器を安全に使用するために、使用前にこの取扱説明書に記載されている内容をよく読んでください。	!
・充電する時は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲外で充電をすると漏液・発熱・破裂の原因になります。	!
・直射日光や発熱体のそば、高温の場所で使用したり、保管しないでください。バッテリーの劣化だけでなく、漏液・発熱・破裂・発火の原因になります。	!

 注意		
・指定時間以上の充電はしないでください。バッテリーの漏液・発熱・破裂の原因になりません。		
・充電器が異常や不具合と思われた時には、直ちに電源プラグを抜いてください。感電・漏電・火災の原因になります。		
・充電器に物を載せたり、落下しやすいつところに置いたりしないでください。破損・落下による感電・発熱・発火の原因になります。		

※注意に表記してあるものでも状況によっては、死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。

本製品は、園芸用です。

下記の薬剤（一例）・園芸用以外の薬剤は使用できません。故障の原因となります。

**殺ダニ用薬剤・畜産用薬剤・防疫殺菌用薬剤
ハエ・蚊・蜂等の殺虫用薬剤**

【仕様】

タンク容量	10L
最高噴霧圧力	0.28Mpa
吐 出 量	広角除草噴口 1.17L/min
	縦2頭口噴口 0.6L/min
	カバー付泡状除草噴口 0.58L/min
ポンプ形式	ベロースポンプ
バッテリー	Ni-MH(ニッケル水素)
バッテリー容量	12V 1700mAh
充電時間	90分
連続噴霧時間	約90分
ヒューズ	5A Φ5×20mm
本体寸法	(W)320×(D)200×(H)440mm
質 量	約4.4kg

※仕様・外観等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

※連続噴霧時間・吐出量は、当社テスト値であり保証値ではありません。使用環境により変化いたします。

【セット内容】※大きさは実寸比と異なります。



本体(吐出ホース付)×1



ノズルパイプ×1



バッテリー×1



キャップ×1



握りグリップ×1



充電器×1



アダプター×1



カバー付泡状除草噴口×1



広角除草噴口×1



縦2頭口噴口×1



計量カップ×1

【各部名称】



【組立方法】

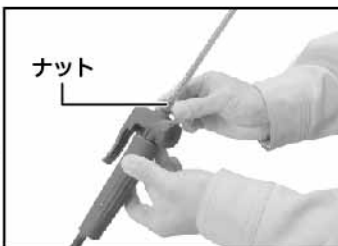
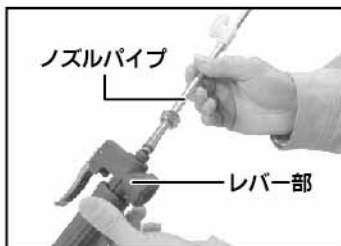
●握りグリップ

- ①握りグリップを回してレバー部を取外します。
- ②吐出ホースを握りグリップに通します。
- ③吐出ホースをレバー部に差込み、回して確実に固定します。
- ④レバー部を握りグリップに差込み、回して確実に固定します。



●ノズルパイプ

- ①ノズルパイプを握りグリップのレバー部先端に差込み、ナットを回して確実に固定します。



●噴口

- ①本機は、3種類の噴口を標準付属品としています。
ノズルパイプの先端に3種類の噴口から必要なものを選んで取り付けてください。取り付けの際は、噴口を回して確実に固定してください。



●広角除草噴口

粗い粒子で扇形状に噴霧する多量散布用の噴口です。



●縦2頭口噴口

細かい霧で中空状に噴霧する2頭口です。



●カバー付泡状除草噴口

噴口に目的物以外への飛散を防止するカバーを付けた噴口です。



【作業を始める前に】

⚠ 注意

- 作業前に各ネジ部にゆるみがないこと、接続部のパッキンの脱落がないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損のないことなど各部に異常がないことを確認してください。
- 安全性を損なう恐れがありますので、吐出ホース、握りグリップ、ノズルパイプ、噴口は他の用途（他の動力噴霧器での使用、コンプレッサーでの使用など）には使用しないでください。
- 吐出ホースは、破損の恐れがありますので無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- 噴霧作業中以外は、握りグリップのレバーを停止位置にしてください。
- お買い上げ後最初に使用する時、長期間(3ヶ月以上)使用しなかった時は、必ずバッテリーの充電を行ってからご使用ください。

●バッテリーの充電

⚠ お買い上げ後最初に使用する時、長期間(3ヶ月以上)使用しなかった時は、バッテリーを正しく充電してからご使用ください。

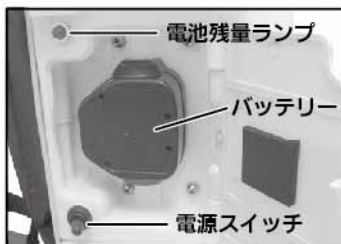
- ①バッテリーを取り出す時は、バッテリー蓋を開けてバッテリーを持って手前に引くと取り外せます。
- ②充電器とアダプターを繋ぎ、バッテリーに充電器を差し込みます。

「緑色点灯・赤色点滅」・・・充電中
「緑色点灯・赤色点灯」・・・充電完了

- ③バッテリーを本体に挿入し、バッテリー蓋を確実に締めてください。

※突然の噴霧を防ぐため、本体にバッテリーを挿入する前に電源スイッチがOFFになっていること・レバーが停止位置にあることを確認してください。

※バッテリーを適正な状態に保つため、電池残量ランプが赤色に点滅したら充電を行ってください。



【使用方法】

⚠ 警告

- ・使用前に各ホース類の接続部がしっかりと締め付けられていることを確認してください。
- ・薬液の吸入や身体への付着による事故を防ぐため、帽子・保護メガネ・保護マスク・ゴム手袋・長袖の服・長スポン・ゴム長靴を着用して皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ・ノズルを絶対に人や動物に向けないでください。事故やケガの原因となります。

⚠ 注意

- ・改造は絶対にしないでください。
- ・酒気帯び、過労、病気、薬物(農業を含む)の影響その他の理由により正常な作業が出来ない方、妊娠・生理中の方、ケガをしている方、満十五歳未満の方は噴霧器の操作を行わないでください。
- ・作業前に薬液漏れが無いこと、ホース類が確実に取り付けられていること、ホース類に亀裂・磨耗・破損などが無いことを確認してください。
- ・薬液が水道・水源地・河川・池・沼・下水道などに流入して汚染しないように注意して作業を行ってください。
- ・薬液が人体や散布対象物以外にかからないよう、風向きや周囲の状況には十分注意して作業を行ってください。
- ・作業中・作業後に頭痛やめまいを生じたり、気分が悪くなったりした場合は、すぐに使用を止め直ちに医師の診察を受けてください。
- ・余った薬液や機械の洗浄水は、水道・水源地・河川・池・沼・下水道などに流入して汚染しないように薬害の無い方法で処分してください。

⚠ 砂まじりの水は使用禁止

- ・細かい砂がポンプやホースを傷めます。
- ・必ず薬液を調合する際は、清水で溶かしてタンクに入れてください。
- ・河川水などを使用される場合は、布で十分こしてください。
- ・使用後は、必ず水洗いしてください。故障の原因になります。

●薬液



- ・薬液は必ず調合し、よく溶かしてからタンクに入れてください。
- ・電源スイッチがOFFになっていることを確認し、薬液をタンクに入れてください。

①薬量・水量を計る計量カップ(付属品)で薬液を調合してください。

目安として500倍・1000倍・1500倍・2000倍が表示されています。使用後は、薬剤をきれいに排出させ、清水でよく洗い、乾燥させて保管してください。

②握りグリップのレバーを停止位置になっているか確認してください。

③希釈した薬液をタンクに入れます。薬液は必ずストレーナーを通してください。

④タンクキャップをしっかりと締めてください。

※タンク内は常にきれいな状態を保ってください。異物をポンプ内に吸い込むと、圧力・吐出量の低下や故障などの原因となります。



●ショルダーベルト・胸ベルト・腰ベルトの調節

※ショルダーベルトのバックルを上を持ち上げ、長くすることで背負いやすくなります。

①タンクを背負ってから腰ベルト・胸ベルトを装着し長さを調節します。

②ショルダーベルトの長さを調節します。



●噴霧

①電源スイッチをONにします。必ずレバーを停止位置にした状態で電源スイッチをONにしてください。

②握りグリップを握ると散布ができます。

③散布が終了したらレバーを停止位置にし、電源スイッチをOFFにします。

※レバーを起こした状態にすることで連続噴霧ができます。停止したい場合は、停止位置に戻します。



【使用後のお手入れ】

⚠ 注意

- ・残った薬液は、草木にかけるか土中に捨ててください。河川、水源地、池、沼、下水などには絶対に捨てないでください。
- ・作業後は、手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
- ・前回使用した薬液が、タンク、ホース、噴口などの内部に残っていると、薬害を起こす危険性があります。

- ①使用後はタンク内を清水できれいにすすいで、再度清水をタンク内に入れて2分～3分噴霧させて、ポンプ・吐出ホース・ノズル内に残った薬液を完全に洗い流してください。完全に薬液が出終わるまで噴霧させてください。
※薬剤がポンプ・吐出ホース・ノズル内に残っていると、機械の不調や故障の原因となります。
※冬季はポンプ内に残った水が凍結し、破損する恐れがありますので洗浄後は水がなくなるまで、噴霧させ、完全に水を抜いてください。
- ②洗浄後は乾燥した布で水気を拭き取って乾燥させてください。

【保守と点検】

- ⚠ 常に機械はきれいにしておくよう心がけましょう。ネジ類のゆるみや破損している箇所が無いか確認してください。

⚠ 注意

- ・作業中・作業後に頭痛やめまいを生じたり、気分が悪くなったりした場合はすぐに使用を止め、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・ノズルの清掃・交換を行う際は、薬液が身体にかかる恐れがありますので、身体の反対側にノズルを向けて取り外してください。
- ・前回使用した薬液がタンク・ホース・ノズル等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合には、残っている薬液を十分に洗い落としてください。
- ・余った薬液や機械の洗浄水は、水道・水源地・河川・池・沼・下水道等に流入して汚染しないように薬害の無い方法で処分してください。
- ・機械を停止してもポンプや吐出ホース内に圧力が残っている場合があります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ポンプや吐出ホース内の圧力を抜いてください。
- ・洗浄後、吐出ホースやポンプに水が残らないようにしてください。水が残っていると冬季に凍結し、故障や破損の原因となります。

●ストレーナー

- ①清水でよく洗い流してください。清掃後は、元の位置に戻してください。



●握りグリップ フィルター

①握りグリップのキャップを回して外し、フィルターを清水でよく洗い流してください。清掃後は、逆の手順で取り付けてください。

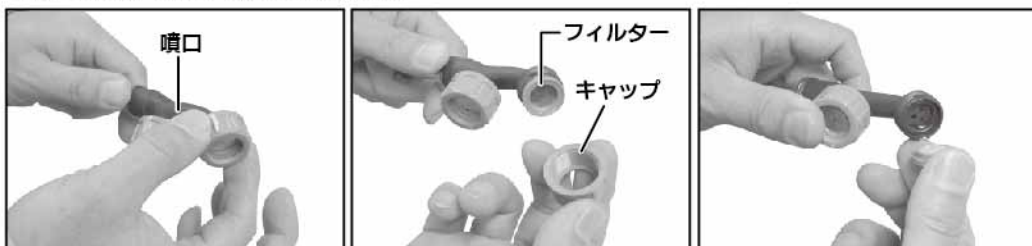
※キャップは、しっかり締めてください。



●噴口 フィルター

①噴口のキャップ・フィルターを下の写真のように外し、清水でよく洗い流してください。清掃後は、逆の手順で取り付けてください。特にフィルターは、きれいに洗浄してください。

※キャップは、しっかり締めてください。



●ヒューズの交換

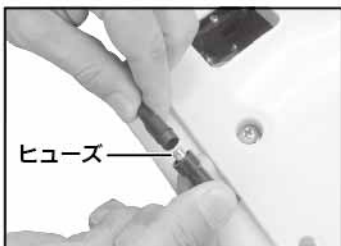
・本機には、モーター・配線保護のため、ヒューズ(5A Φ 5×20mm)を取り付けてあります。

①市販のドライバーで背あてパットのネジ(4箇所)を外します。

②ヒューズホルダーの中から切れたヒューズを取り出し、新しいヒューズと交換してください。

※ヒューズが切れる原因としては次のことが挙げられます。

●農薬によるポンプの固着 ●配線の被覆破れ ●誤配線 ●ポンプ、配管のゴミ詰まり



●バッテリー・充電器

【バッテリー・充電器の取り扱い上の注意】

- ・充電は室温10～40℃の範囲で行ってください。
- ・バッテリーは火中に投げたり、加熱しないでください。発熱・破裂・発火することがあり、大変危険です。
- ・分解・改造しないでください。
- ・バッテリーや充電器を濡らさないでください。ショート（短絡）したり、錆発生の原因となります。
- ・バッテリーを高所から落としたり投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- ・バッテリーのプラスとマイナスを金属などで接続しないでください。
- ・充電中、異常発熱などの異常に気がついた時は、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。
- ・電源コード・電源プラグは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又は弊社お客様相談窓口へ修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・電源コードを乱暴に扱わないでください。
- ・使用時間が極端に短くなった場合は、使用をお止めください。
- ・充電器は充電以外に使用しないでください。

【保管方法】

- ・長期間（3ヶ月以上）ご使用にならない場合は、バッテリーを本体から取り外して満充電の状態でご保管してください。本体に接続したまま長期間保管すると、バッテリー容量の低下や液漏れの原因となります。
- ・電池のプラスとマイナスが接触しないようにして保管してください。ネックレスやコイン、鍵などの金属物と一緒に保管しないでください。気付かないうちにショート（短絡）が発生し、思わぬ事故の原因となり大変危険です。
- ・保管場所は高温多湿の場所や直射日光のあたる場所を避けてください。電池容量の低下、さらには液漏れの原因となります。
- ・温度が50℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房機器のそば）に保管しないでください。

【充電電池のリサイクル】

不要となりましたバッテリーパックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源ですのでお近くのリサイクル協力店（リサイクル表示のあるお店）にお持ちください。



バッテリーを長持ちさせるには・・・

- ・噴霧が弱くなったと感じた時、電池残量ランプが赤色に点滅した時は、使用を止め充電をしてください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は10℃～40℃の範囲内で行ってください。
- ・使用直後などの熱くなったバッテリーは少し冷してから充電をしてください。
- ・長期間（3ヶ月以上）ご使用にならない場合、満充電の状態でご保管をすることをお勧めします。